

昌子の広場

第97報

小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@ybb.ne.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます



槇尾川ダム見直しか 新政権が矢継ぎ早に

目次

・前原国交相が全国のダムの見直しを発表	P1
・無駄な公共工事の典型	P2-3
・一般質問	P4

前原国交相全国のダム見直し！槇尾川ダムも建設見直しか

民主党政権が矢継ぎ早に新政策を指示



民主党政権が誕生して矢継ぎ早にマニフェストに基づき新しい政策を発表し、事務方に指示しています。まさしく政権交代が実感できるスタートとなりました。その中で私たち槇尾川ダムの見直しを求める連絡会に朗報が伝えられました。前原国交相が全国のダム事業の見直しを発表しました。この中に槇尾川ダムも入っています。何とか中止にならないかと念じています。

再評価委員会で橋下知事が発言

今槇尾川ダムの建設に関し大阪府公共事業再評価委員会が開かれています。見直しを求める会の関係者もこの委員会で意見陳述を行っていました。しかし大阪府

の建設継続の考えは変わらなく、再評価委員会も建設にGOを出しそうな雰囲気です。審議が進められていました。

そのようなときに9月17日に開かれた再評価委員会に出席した橋下知事は次のような注目すべき発言をしました。

< 橋下知事の発言 >

ダムは原則として建設はやりたくない。具体的な理由があればやらざるを得ませんが・・・。政権交代がありました。民意が反映されたということです。槇尾川ダムについては去年経営企画会議でゴーサインを出した。それは河口から順に河川改修をやってきて、ダムだけが残っていると説明を受けた。流域全体で考えればダムも必要だと思ってゴーサインを出した。でも是非委員の皆さん方には厳しく判断して欲しい。どんな意見が出されても最終的な判断は知事がする。もしもダム中止という結論が出ても地元の説得は自分がする。

< 知事の発言は重い >

知事の発言は、前原大臣の意向を反映したものと思われ、流れは大きく変わったと思います。民主党政権も大阪府も財政は危機的状況で、新たな施策に必要な財源を不要不急な公共事業の見直しで捻出するしか無いとの判断があるものと思います。

< このダムはもともと不要なダム >

私たちは10年以上も前からこのダムは必要性が乏しく、事業ありきで計画されたダムである。自然を破壊するダムでなく、流域全体でソフトな対応も含めて治水を図るべきと提言してきました。ようやく私たちの主張が実現する時がやってきました。

一般質問速報！

市長公約を推進するプロジェクトチームについて

< 質問 >

市長からプロジェクトチームへどのような指示がなされたか。この間の成果物はなにか。

< 答弁 >

市民税減税や上下水道料金減額だけでなく、市長が4年間暖めてきた項目も含め検討するよう指示を受けている。この間“足腰の強い行財政基盤”を確立する「行財政改革」に取り組む事とし、計画策定にあたっては市民参加と市民への説明責任を果たしながら、財政健全化と職員の意識改革に最優先で取り組む。現時点では「どの取組を何時から実施するか」は明らかに出来ないが、行財政改革の策定を予定している平成22年度中には一定の方向性を示したい。

< 質問 >

22年に策定予定の行財政改革に、市民税、上下水道削減は折り込むのか。現在凍結中の事業の位置づけは。職員の意識改革の中味は。

< 答弁 >

市民税減税や上下水道料金減額は大きな財政負担を伴うことから慎重に結論を出す必要がある。現在凍結中の事業は、行財政改革の計画策定の過程で議論される。職員の意識改革については、職員一人一人の資質向上とともに、職員がモチベーションを維持・向上できる職場環境・職場風土等の整備も必要である。

昌子のコメント

市長の公約実現のトーンダウンが明らかとなっています。市民税や上下水道料金の10%引き下げに多額の財源が必要で、市の財政状況や地方交付税の交付団体で市民税の減税を実施している自治体は皆無であること等から極めて困難な課題であることは当初から分かっていたことです。それを今になって財源問題で慎重に検討するとの答弁は到底納得できないものです。

このような困難な課題の克服にはまずもって市長のリーダーシップと強い信念が必要で、明確な目標の明示と不退転な決意を事務方に示す必要があります。削減の工程表も明らかに出来ず、いたずらに時間を浪費するだけでは事は進展しません。

一方新しく誕生した民主党政権はマニフェストに基づき、矢継ぎ早に新しい政策を事務方に指示し、まさしく政権交代を実感できるのに引き替え、和泉市の新市長にはそのような動きが全く見えないのは残念ではありません。

昌子の日記

- 9/4 和泉中央駅会報配布
- 9/5 新型インフルエンザ講演会
- 9/7 和泉中央駅会報配布、南松尾、和泉各中学校訪問、議運傍聴、ダム定例会
- 9/8 北信太駅会報配布、信太、北池田、槇尾各中学校訪問
- 9/9 信太山駅会報配布、富秋中学校訪問、市政相談会
- 9/10 南池田中学校訪問
- 9/11 和泉中央駅会報配布、石尾、光明台各中学校訪問
- 9/12 万葉講座
- 9/13 緑ヶ丘敬老祝賀会
- 9/14 本会議、裁判(ダンジリ住民訴訟)
- 9/15 厚生文教委員会傍聴、貯水槽清掃について話し合い
- 9/16 都市環境委員会、事務所運営委員会
- 9/17 総務安全委員会傍聴、裁判(合意充当住民訴訟)、大阪府再評価委員会傍聴
- 9/18 議運傍聴、貯水槽話し合い
- 9/20 「子どもの時間」映画と講演
- 9/24 和泉府中駅会報配布
- 9/25 アフガニスタン難民の生活を支援する会総会
- 9/26 脱ダムネット関西臨時集会
- 9/27 事業見直し懇談会
- 9/28-29 一般質問
- 9/30 本会議、イチゴハウス現地視察

< 事務所行事 > いずれも小林昌子事務所で連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626

事務所 TEL 0725-53-4451

(事務所 緑ヶ丘1-3-15)

万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)

- ・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)
- ・会費 1,000円(3か月分) 14-16時
- ・76回 10/11-12 万葉バスツアー(宿泊) 平城京ロマンの旅
- ・77回 11/14(土)声に出して読みたい恋歌(パート)
- ・78回 12/12(土)万葉の旅パート(3) 難波の万葉

< 途中からの参加でも十分お楽しみ頂けます >

ちぎり絵

- ・講師 西原志満子さん・材料費実費 参加費無料
- ・11月11日(水)13時~16時

パソコン講座(参加費無料)

- ・第2、第4週の火曜 10時~12時、同じく 木曜 14時~16時

市政相談会

- ・第2、4水曜日 20:00~21:30

< 楨尾川ダム整備事業 >



ダムサイトで(中央田中代表)



現場を視察した田中康夫(現衆議院議員、当時新党日本代表)のコメント
ダムは洪水を防ぐのに決して万能ではない。危険性は確かに少なくなる。しかしダムがあっても洪水が発生した例は多くあるし、ダムは出来るまでに時間がかかる。直ぐ明日に100ミリの大雨が降るかも知れない。そのような状況でダムに全てを任すのは果たして正しい判断なのか疑問だ。
ダムは大きな外科手術のようなものだ。緊急に運ばれてきた患者に大手術の前に、救命処置、検査などやらねばならない事はいくつもある。それらをすっ飛ばして大手術にはならない。そのような思いで今日現場を見せて頂いたがいくつもの問題を感じた。その一つがダムサイト周辺で伐採された倒木がそのまま放置されているということだ。あのまま放置すると大雨が降ったときに倒木が流木となって土石流とともに下流の民家を直撃すると大惨事になる。ダムが本当に必要であったとしても、このような倒木の処理は直ちに行政としてやらねばならないことだ。住民の命と財産を守るという、このようなことを平気でやっている行政は大問題だ。

和泉市南部で緑を破壊する二つの公共工事

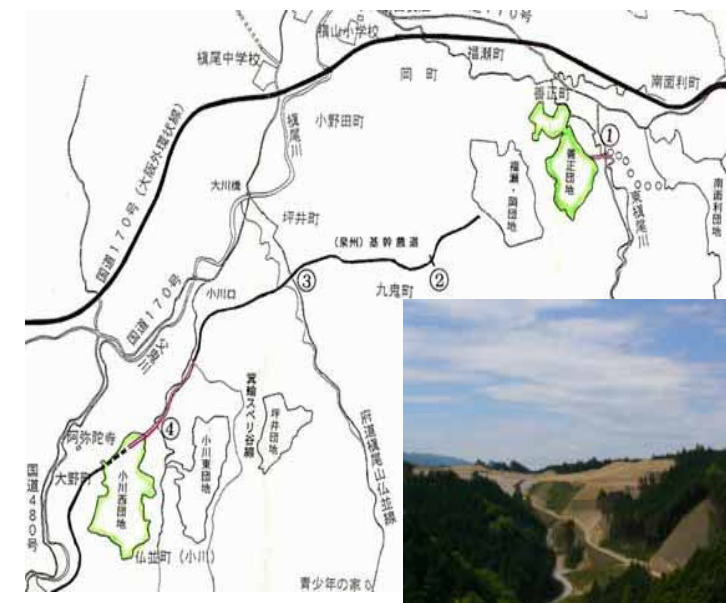
和泉市で二つの大きな公共工事が一方はほぼ完工、一方は事業継続中です。何れも東部の山間を切り開いて緑を破壊する工事です。
その一つは楨尾川上流に設置される楨尾川ダムであり、もう一方は和泉市から泉南市までの南部山間部を切り開いて農地を作る泉州東部農用地整備事業です。

緑のダムと言われる山林を壊して農地開発を行い、一方で治水のためにダムを作ろうとしている愚行は全く理解できません。

Table with 3 columns: Project Name, Total Cost, and Progress Status. Rows include 楨尾川ダム工事 (129 billion) and 泉州東部農用地整備事業 (297 billion).

Graphic with circles containing '297億 泉州東部農用地整備事業' and '129億 楨尾川ダム工事', overlaid with a large 'Stop' sign and the text '緑を破壊する二つの公共工事'.

< 泉州東部農用地整備事業 >



この事業は泉州の東南部の山麓を切り開き、泉州基幹農道の整備と農地の基盤整備により、農業生産性の向上、農産物の安定供給を図ることを目的として緑資源機構が実施した事業で、事業は昨年完成し緑資源機構から市に引き継がれました。最終的な事業規模は以下の通りです。

Table showing the scale of the project by city: 堺市, 岸和田市, 貝塚市, 泉佐野市, 泉南市, 和泉市, and Total. Columns include 面整備, 基幹農道, and 計.



< 効果のないダムに何故 129 億円もの巨費を投入? >

現在工事中の楨尾川ダムは、大津川流域の僅か3%強の流域しかカバー出来ないものです。この流域に雨が降ったときは有効でも、それ以外の97%の流域に大雨が降ったときには何の効果もありません。如何に無駄なダムであるかが分かります。



Table titled '築成橋 (海拔からの高さ 単位:m)' comparing water levels during 100-year and 20-year floods with and without the dam.

・ダムによる水位低減効果は僅か15~20cm(右上の表)

例えばいぶき野北池田中学校横の泰成橋では、堤防は北池田側がいぶき野側より約5m低く、北池田側が問題となります。洪水の時の水位(最高水位)を見ますと、ダムがあるときと無いときの差は僅か15cmしかありません。北池田側では100年に一度の雨が降ったときでもダムが無くても堤防を越えることはありません。しかし、治水の目標水位(HWL)からみると最高水位はダムがあっても超えています。完全に安全とは言えないのです。このように泰成橋周辺はダムがあっても100年に一度の大雨には対応出来ないのです。このことは楨尾川の殆どの流域で同様な状況です。

無駄な公共工事を止められない補助金行政の転換

この巨額の公共事業は国と大阪府の補助金で賄われています。和泉市の負担はダムについては全く無く、東部農用地整備事業では僅か10%強です。自治体の負担が極端に少ないことから、地元で少しでも仕事が来ればとの思いもあって、この事業に賛成している市民の方も多いのでは無いかと思います。

しかし、国や府からの補助金でも結局は市民の税金です。貴重な税金が緑の破壊に無駄に使われることは何としても我慢が出来ません。コンクリートの巨大構造物は自然を破壊します。そしてその自然を回復するには気の遠くなる時間と費用が必要になります。

民主党の新政権は、徹底的な無駄の削除で新たな財源を生み、子育て支援等の国民への直接給付へと転換を図っています。このような無駄な事業が継続されないよう強く希望するものです。

泉州東部農用地整備事業は既に終わっていますが、この事業を今後精査し、再び無用の長物を作らせない行政の監視が私たち市民にも求められていると思います。

農業の活性化は和泉市にとっても極めて重要な政策課題ですが、問題はこれに要する膨大な費用と道路整備及び畑地への転換による緑の喪失(環境破壊)です。

事業費は、上表にありますように300億円にも達する巨額です。和泉市分が約半分で、内農道分が80%を占めています。

この事業がこのような巨額の事業費を使うにふさわしいものか極めて疑問です。農業の生産性を上げるための区画整理はそれなりに理解できますが、緑を削っての農地造成と新たな農道の建設は全く理解しがたいものです。特に基幹農道は大型バスが通れるような幅員7mの全舗装の道路です。この基幹農道のそばを国道170号線が平行して走っています。この国道を使えば事足りるのに、敢えて農道を建設することは事業のための事業しか考えられません。基幹農道は岸和田市の撤退や、一部用地買収の不調から道路は寸断され、当初の目的から全く変わってしまっています。国道170号線と平行して走ることから利用は限定されると今まで何回も議会で発言してきましたが、案の上数回この農道に行ってきましたが行き交う車は数台に過ぎず、当初の一日当たり3721台の予定は絵に描いた餅になることは確実です。この道路は山地をぬって建設されたので、橋やトンネルもあり、高い擁壁で作られている事から今後の維持管理費も相当高くなると思います。(市はこれについて全く見積もりをしていません)200億円を超える税金が無駄に消えてしまう恐れが極めて大です。

新しく作った農地の利用率は60%程度との事ですが、未利用地は全くの手つかずの土地で、それ以外は利用と整理していますが十分活用されているかは疑問です。実際に現地を見に行きましたが植物が栽培されている土地は遙かにこの値より少ないと感じました。